

(概要版)

地理的な見方や考え方を高める中学校社会科指導の工夫

- 見方や考え方の視点に基づいた

課題解決型ワークシートの活用を通して -

長期研修 研修員 佐藤 芳正

平成20年3月28日 中学校新学習指導要領告知


【地理的分野改訂の要点】

分野目標についての見直し
内容構成についての見直し
世界に関する地理的認識の重視
動態地誌的な学習による国土認識の充実
地理的技能の育成の重視
社会参画に関する学習の充実

【研究のための主な視点】

地理的な見方や考え方
課題解決学習

中学校社会科の現状と課題

| | | |
|-----|--|--|
| 全国 | 地図・統計など各種資料からの必要な情報の読み取り、社会事象の解釈や事象間の関連の説明、自分の考えの論述が不十分である。 |  |
| 群馬県 | 基礎的な知識と地図や統計資料等を読み取る技能とを確実に身に付けさせる場と、その知識や技能を活用して課題を考察させる場を意図的に設けるなど単元や授業構成を工夫する必要がある。 | |
| 協力校 | 世界地誌的な学習や資料の読み取りおよび資料を読み取ったことをもとに論述する力が不十分である。 | |

教師の願い



地理的な見方や考え方の視点に基づいた課題解決型ワークシートを活用すれば、力がつくのでは...

探究する学習のために...継続して行いたい学習形態

この研究には、地理的な見方や考え方を高めるためのポイントが2つあります。

ポイント1

地理的な見方や考え方の視点に基づいたワークシートを使って、課題解決学習を段階的継続的に行ってみよう。



ポイント2

ワークシートの記述への助言を毎回フィードバックして支援してみよう。

1 見方や考え方の視点に基づいた課題解決型ワークシートを使った学習形態

発問の基になる見方や考え方の視点

| | |
|---------|--|
| 地理的な見方 | どこに、どのようなものが、どのように広がっているのか。 |
| 地理的な考え方 | なぜそこで、そのようになっているのか。 そこでしかみられないのか。 どのようなより大きな地域に属しているのか。 より小さな地域から構成されているのか。 いつごろからみられたのか。これからみられるのか。 |



地図から「どこに、どのようなものが、どのように」「なぜ、そこで、そのように」を考察する。

「人口の特色をとらえよう」の例

課題解決型ワークシート

① 過疎地域の生活 ～上野村を例に～

△どこにある
・何地方? 関東地方
・何県のどのあたり? 群馬県の最西部

△どのようなところ
・まわりが(山、自然)に囲まれている。

△上野村はなぜ過疎に? (かつては人口が2000人ほどあり、村を歩いて行くと、若狭川に村が囲まれていた。若狭川が干涸びると、村が孤立する。)

△いつごろか (過疎化(人口減少)の進行)

△過疎地は他にもみられるか (山梨県、みどり市、他地域でも、上野村に似た状況が見られる。)

② 過疎化進行による問題点と問題解決への取組

① 上野村の人口減少がもたらしたことでどんな問題点が生じているのだろうか?

② 解決策を考案しよう。

③ 実際の取組

④ 上野村の人口減少がもたらした問題点

⑤ 上野村の人口減少がもたらした問題点

⑥ 上野村の人口減少がもたらした問題点

見方や考え方の視点

で作成した発問を段階的に配列したワークシートを活用し課題追究する。

課題解決型ワークシートを活用する

- 見方を、考え方を で表記し、見方や考え方を意識して学習できるようにします。
- ワークシート上に示された資料を基にして、他の資料と関連させながら課題追究を行います。
- 課題追究が見方や考え方を踏まえて段階的に進められるようワークシート上の発問を配列します。

こんな効果と生徒の変容が期待できます

地理的な見方や考え方の視点に基づいて作成した発問を段階的に配列した課題解決型ワークシートを活用することによって、地理的な見方や考え方を身に付けられます。

2 生徒の記述に毎回フィードバックして気づきを促し、支援する学習形態

【本日の学習の感想や、わかったことや新たな】

地理学習後記 月 日 / 6 (全6時間)
 <振り返りコーナー> 名前

I 本日の学習の感想や、わかったことや新たな疑問、感想

Good

人口増加率が、どこで、どうして減ったり増えたりしているのかが分かっておもしろかった。他の人の住んでみたい所や、どんな事を皆が考えているのかが、分かっておもしろかった。
 色々な資料があっておもしろかった。

自由記述欄

↑

注：左のワークシートの自由記述欄を拡大したものの

II 自己

技能・表現

I 自己

その時間の地理的な見方や考え方の評価規準を示して生徒に自己評価させる。

自由記述欄

注：左のワークシートの自由記述欄を拡大したものの

自己評価欄

生徒の思考や気づきを促すようなフィードバックを継続する。

III 友だちから

IV 先生から

資料がしっかり読め取れている証拠だね。そのようにしてほめておもしろい。それから、いかに特徴をみつけて、その理由を答える。大事だよ。

教師のフィードバック欄

課題解決型ワークシートの記述を評価して、助言をフィードバックする

ワークシート裏

自由記述欄 学習してわかったこと、気付いたこと、新たな疑問を記述させる。

自己評価欄 地理的な見方や考え方の評価規準を教師が示して自己評価させる。

教師のフィードバック欄 記述内容を評価して助言を与え、生徒への学習支援を行っていく。

課題解決型ワークシートの表面と裏面の、 を中心に評価しフィードバックを毎時間行います。

こんな効果と生徒の変容が期待できます

課題解決型ワークシートの生徒の記述に毎回教師が評価・助言をフィードバックすることで、生徒の思考や気づきを促し、地理的な見方や考え方をさらに高めることができます。

地理的な見方や考え方の高まりを検証するために...検証方法

この研究には、見方や考え方の高まりを検証する方法にもポイントが2つあります。

地理日記

課題解決型ワークシートを再構築した一枚ポートフォリオです。学習のまとめで活用します。

- ・生徒の記述の変容を一覧できる。
- ・見方や考え方に関する生徒の毎時間の自己評価を一覧できる。

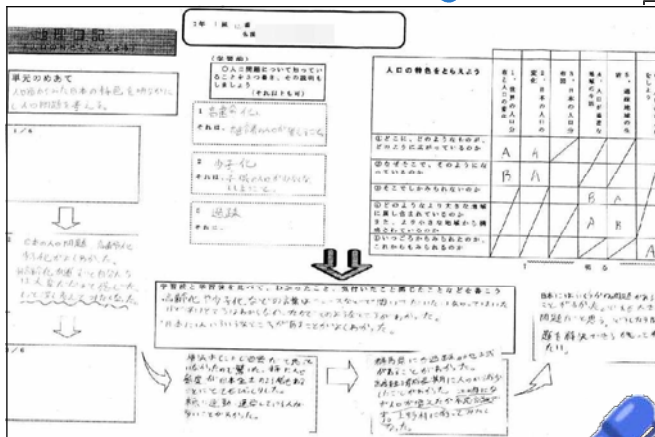
2つを
併用します



客観テスト

単元学習前・後に実施した、見方や考え方の視点で作成したテストです。

- ・事前・事後の客観テストとも授業で扱っていないものを基にそれぞれ作成しているため、客観性が高い。



(学習前のテスト)

- ・タイ王国について、資料を見て次の問いに答えよ
- (1) タイで米作りがさかんなところはどのあたりか。地形図を見て、「～の周辺」という形で答えよ。(地形図略)
- (2) タイで米作りがさかんなのはなぜか。資料1, 2を見て答えよ。(資料1, 2略)

地理日記上の記述の変容や自己評価を客観テストで補い、検証に役立てる。

研究の成果と課題

成果

地理的な見方や考え方の視点に基づき、資料と組み合わせるワークシートの発問を作成し、段階的に配列したことにより、生徒の見方や考え方に対する意識が高まるとともに、情報の読み取りや課題把握、背景や要因の探究をしやすくなり、地理的な見方や考え方を身に付けることができた。

毎時間の課題追究を評価して、助言をフィードバックし、生徒の思考や気付きを促すことで、学習支援ができ、地理的な見方や考え方をさらに高めることができた。

課題

- ・地理的な見方や考え方の視点で年間指導計画を作成する。
- ・課題解決のための学習時間を十分に確保する。
- ・地理的な見方や考え方の達成度の評価規準をよりわかりやすくする。
- ・歴史や公民分野での研究の可能性を探る。

問い合わせ先 群馬県総合教育センター
担当係: 高校教育研究係

0270-26-9214(直通)